

## 平成 30 年度エコマネジメント長野 内部環境監査の実施結果

### 実施概要

#### 1 監査対象

- ・地域ごと、管内の被監査箇所から、監査を実施する所属を概ね 3 分の 1 程度を選定。(選定は、各合庁事務局と推進事務局が行う)
- ・選定に当たっては、①環境負荷の大きい所属(試験研究機関、実業系高等学校)、②庁舎管理担当課(財産活用課、総務管理課等)、③単独現地機関、④高等学校、⑤庁舎入居機関など所属の特性や実情を踏まえ、管内で出来るだけバランスが取れるように選定。

#### 2 実施方法

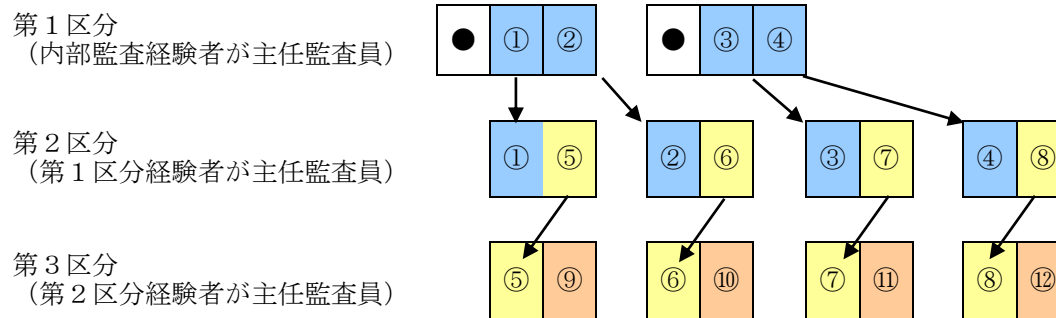
- ・内部環境監査員の力量向上、監査の効果的実施のため、監査を段階的に実施。(第 1 区分の監査員が第 2 区分の主任監査員になる等のチーム編成による)
- ・さらに、監査の第 1 区分に外部環境監査人(環境マネジメントシステム審査人)が参加し、その指導、教育の基に監査を実施(1 地域 2 箇所程度)。

第 1 区分：内部監査経験者が主任監査員となり、チームを編成(外部環境監査人が参加)

第 2 区分：第 1 区分経験者が主任監査員となり、チームを編成

第 3 区分：第 2 区分経験者が主任監査員となり、チームを編成

【実施例(1 チーム 2 人体制)】(●：外部環境監査人、①～⑫：内部環境監査員)



#### 3 監査時期

平成 30 年 10 月中旬～12 月

#### 4 監査項目

チェックリスト及び判定フローチャート(監査基準)に基づき監査を実施。

### 実施結果

#### 1 判定事項

- ・監査実施所属 100 所属(うち外部環境監査人が参加した監査 20 所属)
- ・「優良」135 件、「指導」51 件、「指摘」10 件

## 2 主な優良事項

所属名	内 容
諏訪二葉高校	生徒と職員にて構成される委員会にて、取組に係る意見交換が行われている。委員会にて概ね週1回エコマネを推進する放送を流している。
南信消費生活センター	所が実施している出前講座において、「環境」に配慮した消費などエシカル消費について積極的にPR、啓発活動を行っている。
飯田技術専門学校	高森町内にあった支障木を訓練生らがテーブル等に加工し、同町に寄贈した。
飯田養護学校	職員会資料をパソコンで閲覧し、ペーパーレス化を進めた結果、用紙使用量を基準年（H21）の2/3まで減量することができた。
松本技術専門学校	使用頻度の高い管理棟1階のトイレに人感センサーを設置したことで、水道使用量の削減になった。また、人感センサーの設置は、学生の実習を兼ねて行ったことで、材料費のみで設置できた。
中信県税事務所	所の内部会議及び研修について、ペーパーレス会議システムにより行い、紙による資料配布を行っていない。 電子回議、電子供覧を積極的に利用して、紙資料による回議、供覧は極力行わないようにしている。
県立長野図書館	ホワイトボードに代わる「どこでもシート」を机上や壁面に貼付して打ち合わせを行い、業務の効率化と紙の節減取組を図っている。
飯山高校	生徒自らが、洋式トイレの室内に暖房便座の省エネの取組を周知する張り紙を作成し掲示している。

## 3 主な指摘・指導事項

- ・環境手帳の未配付・目標未記入
- ・産業廃棄物管理票（マニフェスト）交付状況の未報告・報告の遅れ
- ・産業廃棄物の不適切な保管（保管場所の表示）

法令遵守  
項目

## 4 実施結果の各所属への反映方法

- ・監査における個別の指摘・指導事項については、早期に適切な対応が必要なものについて、年度内を目途にフォローアップを実施。
- ・率先的な取組事例については、各所属から詳しい取組内容や写真等の報告を受け、研修会での紹介や環境活動レポートへの掲載等により、取組の水平展開を図る。